



2021年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年12月15日

上場会社名 株式会社 銚子丸 上場取引所 東
 コード番号 3075 URL <http://www.choushimaru.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 満
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 仁科 善生 TEL 043-350-1266
 四半期報告書提出予定日 2020年12月28日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け) (オンライン開催)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期第2四半期の業績 (2020年5月16日～2020年11月15日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第2四半期	8,788	△9.5	356	41.4	385	34.1	202	39.5
2020年5月期第2四半期	9,714	5.2	252	12.0	287	17.8	145	9.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第2四半期	14.82	14.81
2020年5月期第2四半期	10.64	10.63

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年5月期第2四半期	13,202	6,726	50.9	491.02
2020年5月期	8,751	6,521	74.5	476.05

(参考) 自己資本 2021年5月期第2四半期 6,720百万円 2020年5月期 6,517百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2021年5月期	-	0.00	-	-	-
2021年5月期 (予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注) 2021年5月期の配当予想につきましては、現時点で未定のため「-」と表示しております。

3. 2021年5月期の業績予想 (2020年5月16日～2021年5月15日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,807	△1.5	306	328.0	329	136.6	149	-	10.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年5月期2Q	14,518,000株	2020年5月期	14,518,000株
② 期末自己株式数	2021年5月期2Q	819,256株	2020年5月期	819,210株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年5月期2Q	13,698,782株	2020年5月期2Q	13,679,551株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は2021年1月12日に機関投資家、証券アナリスト向けの決算説明会をオンラインにて開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済活動の制限による景気の急速な悪化により、極めて厳しい状況で推移いたしました。緊急事態宣言解除後に経済活動が徐々に緩和されたことで緩やかな回復の兆しが見られるものの、新型コロナウイルス感染症再拡大の懸念もあり、先行き不透明な状況が続くと想定されます。

外食業界におきましても、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う活動制限や外出自粛により、お客様の生活様式や外食に期待するサービス内容が激変しており、店内飲食が減少する一方で、人との接触機会の少ないテイクアウトやデリバリーサービスなどが増加する等、競争環境も激変しており、経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況において、当社は、お客様及び従業員の安心・安全を最優先にした「感染しない、させない営業」の徹底と、『お店との繋がり』が実感できる「ウィズ・コロナ時代の銚子丸劇場」への進化に邁進し、既存客の来店動機の抑制要因の軽減に努めました。

また、「アフター・コロナ時代」を見据えた収益モデルへの移行を積極的に推進するために、テイクアウトメニューの充実を図るとともに、2020年8月31日に当社初の「テイクアウト専門店」初台店を新規に出店しました。併せて2020年5月期末に15店舗で導入を開始した「出前館」（当第2四半期会計期間末64店舗で導入済）、及び同年7月22日に15店舗で導入を開始した「ウーバーイーツ」（当第2四半期会計期間末86店舗で導入済）の積極的な拡充により、テイクアウト・デリバリー需要の更なる拡大を見据えた営業体制の充実を図りました。

店舗開発につきましては、当第2四半期累計期間において、上記「テイクアウト専門店」初台店（2020年8月）を新規に出店しました。一方で「鯔Y a s u k e」大手町プレイス店についてはリモートワークの拡大に伴ってオフィスビル人口が激減し、収益モデルの見直しによっても改善が困難と見込まれたため閉店（2020年10月）しました。この結果、当第2四半期会計期間末の店舗数は93店舗となっております。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高につきましては、ウィズ・コロナ、アフター・コロナ時代を見据えたテイクアウト・デリバリーによるサービスの拡充を積極的に推進したことが奏功し、当初予想を若干上回る87億88百万円（前期比9.5%減）となりました。

利益面につきましては、全社的に広告宣伝費・販促費の抑制や不要不急の支出の圧縮に努めた結果、営業利益は3億56百万円（同41.4%増）、経常利益3億85百万円（同34.1%増）、四半期純利益は2億2百万円（同39.5%増）となりました。

（注）金額に消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ44億50百万円増加し、132億2百万円（前事業年度末比50.8%増）となりました。主な要因は、次のとおりであります。

流動資産は、前事業年度末に比べ45億56百万円増加し、104億60百万円（同77.2%増）となりました。主な内訳は、現金及び預金の増加42億19百万円及び売掛金の増加4億65百万円であります。

固定資産は、前事業年度末に比べ1億5百万円減少し、27億41百万円（同3.7%減）となりました。主な内訳は、建物（純額）の減少37百万円及び有形固定資産その他（純額）の減少68百万円であります。

（負債・純資産）

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ42億45百万円増加し、64億76百万円（前事業年度末比190.3%増）となりました。主な要因は次のとおりであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ42億42百万円増加し、60億90百万円（同229.6%増）となりました。主な内訳は、短期借入金の増加8億56百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加30億円、未払法人税等の増加1億11百万円及び未払金の増加1億16百万円であります。

固定負債は、前事業年度末に比べ2百万円増加し、3億85百万円（同0.7%増）となりました。主な内訳は、資産除去債務の増加9百万円であります。

純資産は、前事業年度末に比べ2億5百万円増加し、67億26百万円（同3.1%増）となりました。主な内訳は、利益剰余金の増加2億2百万円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して42億19百万円増加し、90億57百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は4億48百万円（前年同期は2億45百万円の獲得）となりました。これは主に税引前四半期純利益3億15百万円、減価償却費1億28百万円による資金の獲得及び、売上債権の増加4億65百万円による資金の使用によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は77百万円（前年同期は4億41百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出61百万円及び無形固定資産の取得による支出15百万円による資金の支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は38億48百万円（前年同期は11百万円の使用）となりました。これは主に短期及び長期借入金の増加によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が予断を許さない状況であることから、2020年9月15日公表の売上高178億7百万円、営業利益3億6百万円、経常利益3億29百万円、当期純利益は1億49百万円からの変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年5月15日)	当第2四半期会計期間 (2020年11月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,245,531	9,464,855
売掛金	227,536	693,313
原材料及び貯蔵品	136,155	130,060
その他	294,998	172,126
流動資産合計	5,904,222	10,460,355
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	776,748	739,426
その他(純額)	545,051	477,015
有形固定資産合計	1,321,800	1,216,442
無形固定資産	11,406	24,654
投資その他の資産		
敷金及び保証金	883,067	882,074
その他	632,579	619,892
貸倒引当金	△1,078	△1,078
投資その他の資産合計	1,514,568	1,500,888
固定資産合計	2,847,775	2,741,985
資産合計	8,751,997	13,202,340
負債の部		
流動負債		
買掛金	619,779	615,908
短期借入金	144,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	—	3,000,000
未払金	800,923	917,608
未払法人税等	45,088	156,292
賞与引当金	106,785	175,205
株主優待引当金	33,589	33,710
店舗閉鎖損失引当金	2,000	12,819
その他	95,571	178,855
流動負債合計	1,847,738	6,090,400
固定負債		
資産除去債務	202,498	212,207
その他	180,480	173,421
固定負債合計	382,978	385,628
負債合計	2,230,717	6,476,029

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年5月15日)	当第2四半期会計期間 (2020年11月15日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	315,950	315,950
資本剰余金	253,729	253,729
利益剰余金	6,645,754	6,848,706
自己株式	△697,438	△697,493
株主資本合計	6,517,995	6,720,892
新株予約権	3,284	5,418
純資産合計	6,521,280	6,726,311
負債純資産合計	8,751,997	13,202,340

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年5月16日 至 2019年11月15日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年5月16日 至 2020年11月15日)
売上高	9,714,137	8,788,439
売上原価	3,928,668	3,559,150
売上総利益	5,785,468	5,229,289
販売費及び一般管理費	5,533,178	4,872,653
営業利益	252,290	356,635
営業外収益		
受取利息	913	731
協賛金収入	25,323	13,758
雇用調整助成金	—	6,912
その他	9,439	8,939
営業外収益合計	35,676	30,342
営業外費用		
支払利息	601	1,867
現金過不足	201	—
その他	—	32
営業外費用合計	802	1,899
経常利益	287,164	385,078
特別利益		
固定資産売却益	52	—
特別利益合計	52	—
特別損失		
固定資産除却損	1,602	0
減損損失	59,558	59,231
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	10,819
特別損失合計	61,160	70,050
税引前四半期純利益	226,056	315,027
法人税等	80,567	112,074
四半期純利益	145,489	202,952

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年5月16日 至 2019年11月15日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年5月16日 至 2020年11月15日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	226,056	315,027
減価償却費	136,599	128,700
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	10,819
減損損失	59,558	59,231
株式報酬費用	18,218	11,094
建設協力金と相殺した地代家賃・賃借料	15,365	12,661
賞与引当金の増減額 (△は減少)	72,710	68,420
受取利息及び受取配当金	△913	△731
支払利息	601	1,867
有形固定資産売却損益 (△は益)	△52	—
固定資産除却損	1,602	0
売上債権の増減額 (△は増加)	25,839	△465,776
たな卸資産の増減額 (△は増加)	73,114	6,094
仕入債務の増減額 (△は減少)	△313,833	△3,870
未払消費税等の増減額 (△は減少)	38,460	26,434
その他	111,284	172,656
小計	464,612	342,628
利息及び配当金の受取額	207	121
利息の支払額	△607	△2,012
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△219,117	107,415
営業活動によるキャッシュ・フロー	245,094	448,152
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△407,470	△407,505
定期預金の払戻による収入	407,438	407,472
有形固定資産の取得による支出	△429,478	△61,138
有形固定資産の売却による収入	52	—
無形固定資産の取得による支出	△931	△15,509
長期前払費用の取得による支出	—	△213
敷金及び保証金の差入による支出	△11,977	△1,670
敷金及び保証金の回収による収入	11,207	714
建設協力金の支払による支出	△8,500	—
資産除去債務の履行による支出	△2,120	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△441,778	△77,849
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	310,000	1,000,000
短期借入金の返済による支出	△232,000	△144,000
長期借入れによる収入	—	3,000,000
リース債務の返済による支出	△7,959	△6,942
配当金の支払額	△81,907	△70
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,866	3,848,987
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△208,550	4,219,290
現金及び現金同等物の期首残高	5,962,427	4,838,059
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,753,876	9,057,349

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。